

夢が見事に幻滅となりたることなり。

△上海ザーリア紙(露字) 六月二十三日

この際問題となるは日本の立場なるが、日本は至つて漠然たるものなり。日本はソ聯と不可侵條約を締結したりとは云へ又假令獨逸が勝利を得るとしても東亞に於ける宿望は之を放棄せざるべし。

△上海タイムズ 六月二十三日

極東に如何に影響するや俄に豫斷するは許されざるも、日本は相當窮地にあるは事實ならん。獨逸は日本に積極的協力は求めざるも勝利を得たる曉には相當日本壓迫の舉に出ざるべし。

△上海テレグラフ紙 六月二十二日

(東京二十二日UP電) 獨ソ開戦の報は日本に大衝戦を與へあり、政府は大本營と本廿三日朝日本の立場に關し協議する筈なるが、各方面の意見を綜合せば左の如し「日本は三國同盟及びソ聯との不可侵條約の間に立ち複雑なる状態にあり、従つて靜觀主義を以て臨むべし、又日本は不可侵條約の結果親ソ的雰圍氣にあるを以てドイツより漸次離れ行くべし、又日本は米國との國交調整に乗出し同時に日本は時機を見て蘭印との會商に乗出すべし」



外國宣傳情報第四十六號

昭・一六・七・三情報局

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎英米系の日本觀測

英米系電臺其他による日本は三國同盟、日ソ中立條約の間に立ち複雑な状態にあつて、暫くは靜觀主義を採り、あらゆる機會を利用すべしと觀測しあり。

△大美晚報電臺(UP電) 六月二十三日 北京語放送

(東京二十二日發) 日本外務省半官機關紙と認めらるるタイムズ・アドバタイザは「日本は獨蘇に對する條約に等しく友誼態度を示さん、即ち國策決定迄中立を保持すべし」と報じあり。信ずべき獨人筋よりの報道に依れば「獨逸は日本に對し獨蘇戰爭に兩國條約の

義務を履行すべく要求する意なし」と、信ずべき筋に於ては「蘇聯は日外相松岡洋右に對し日本が日蘇相互不可侵條約を根據に中立を遵守すべく要求する照會を發する準備を整へたり」と。

△前同

(東京二十三日發) 日本の處すべき地位に關し觀測者の信ずる所に依れば日本は日獨伊三國同盟及び日蘇中立條約の存在に依り其の立場頗る複雑なり、或は暫時觀望政策を採るに非ずや、と。

△前同

(東京二十二日發) 一般の信ずる所に依れば日本は豫め獨蘇間に戰爭あるべしとの消息を受けしたるべしと、消息通の信ずる所に依れば日本は今後數週間沈黙を守り待機政策を採り東亞新秩序の建設に努力すべしと、一般は日本が近く蘇聯に經濟要求(給油要求)を提出すべしと豫測しあるが現在迄日蘇間緊張せず。

△民主電報(U.P.電) 六月二十三日 上海語放送

(東京發) 日方は獨蘇戰が如何に發展するも日本に有利なるべしと認めあり。

(1) 蘇聯の對支援助必ずや減少し之に依り支那事變の解決容易となる

(2) 英米蘇は必ずや以前に比し更に日本の好感を必要とせん

(5) 日本は既に蘇聯の脅威を受けず、南太平洋上に於て外交的、軍事的手段に依り日本の必要とする原料を獲得し得ん

◎フックス委員米の援支具體案を發表

中國安定基金委員會米側委員の發表によると米國は支那の銀・タンクステン・桐油等と交換に軍需資材・金融等により援支を行ふ。

△正音報 六月二十七日

爲替準備基金管理委員會特派の米國委員マニユエル・フォックスは隨員ウイリアム・テイラーを伴ひ重慶より香港着、一昨日午前十時半オランダ郵船にて來滬、キヤセイホテルに投宿せるが上海及び被占領區の幣制金融及び爲替市場の調査を進めつつあり、フォックスは記者に來滬使命の發表を拒絶せるが午後二時中央、中國、交通三銀行上海分行の責任者を召集して會見せるが昨日は上海香港バンク、マツカリイ及びアメリカン・インタナショナルシティの三銀行支配人等と會見し上海の爲替市場及び金融幣制狀況に關し詳細協議せり、尙今日も各種問題に對する協議を續行せん。